

5 田無駅北西部地域

(1) 地域の現況

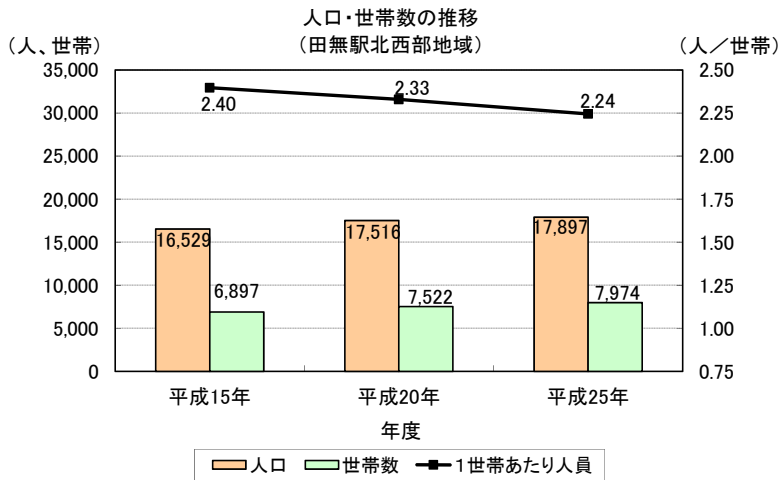
① 概況

市西部に位置し、西武新宿線田無駅北西方向の地域です。全体的に低層住宅を中心とする地域ですが、多摩六都科学館などの文化・娯楽施設もあります。西原自然公園のような樹林地もみられます。

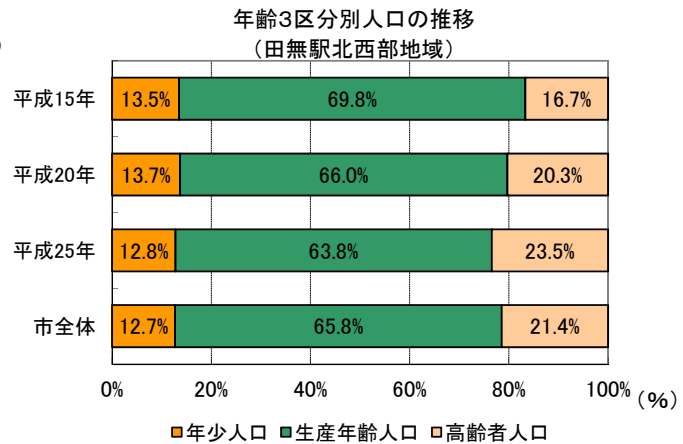


② 人口・世帯

人口が増加傾向にあります。世帯あたりの人口が市内では比較的多い地域ですが、減少する傾向にあります。少子高齢化が進行しています。



※各年1月1日付住民基本台帳より

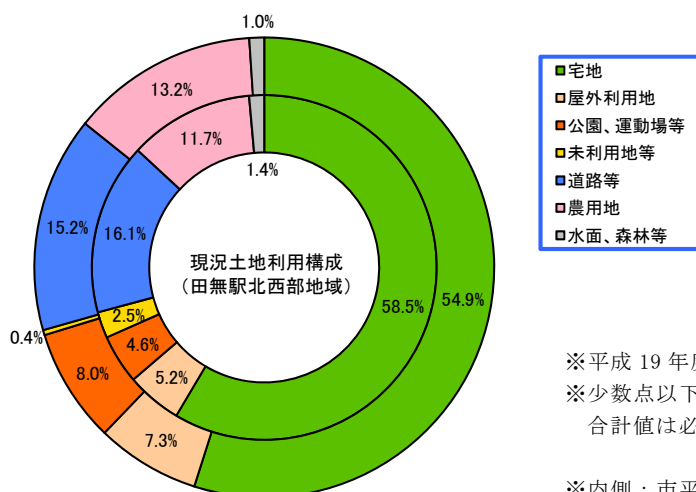


※各年1月1日付住民基本台帳より

※年少人口：0～14歳
生産年齢人口：15～64歳
高齢者人口：65歳～

③ 土地利用

低層住宅地が多くを占めていますが、都営住宅などの大規模な集合住宅地も比較的多くみられます。



※平成19年度東京都土地利用現況調査(多摩部)より
 ※少数点以下第1位を四捨五入しているため、
 合計値は必ずしも100とならない

※内側：市平均 外側：本地域

④ みどり・水辺・景観

かつての「武蔵野」の面影を伝える雑木林を原型のまま取り入れた西原自然公園が、市民活動の力もあって保全・整備されています。そのほかの公園としては、芝久保第一公園があります。自然環境と調和した低層住宅を中心とする落ち着いた街並みとともにスカイタワー西東京や多摩六都科学館などによる特徴的な景観も形成されています。

⑤ 交通環境

地域内の主要な道路として、新青梅街道(西東京3・5・4号新青梅街道線)が整備されています。西東京3・4・26号新小金井久留米線の一部及び西東京3・4・9号保谷東村山線が事業中です。そのほか、都市計画道路として西東京3・4・25号田無久留米線をはじめ2路線が計画されています。田無駅と西武池袋線ひばりヶ丘駅を結ぶバス路線や、「田無駅入口」と花小金井駅を結ぶバス路線があります。田無駅北口から、芝久保地域を經由して多摩六都科学館へいたるコミュニティバス* (はなバス) が運行しています。

* コミュニティバス：路線バスの運行していない地域を運行する小型バスで、本市では「はなバス」の愛称で運行

⑥ 防災・人にやさしいまちづくりなど

避難広場*として、日本文華学園、西原自然公園、けやき小学校、田無第三中学校が指定されています。狭い道路や行き止まり道路が多く、地域の南部などには住宅が密集する区域もみられることから、災害発生時の危険性がやや高くなっています。福祉施設として、地域包括支援センター（西原町）、特別養護老人ホーム（グリーンロード、クレイン）があります。



多摩六都科学館



西原自然公園

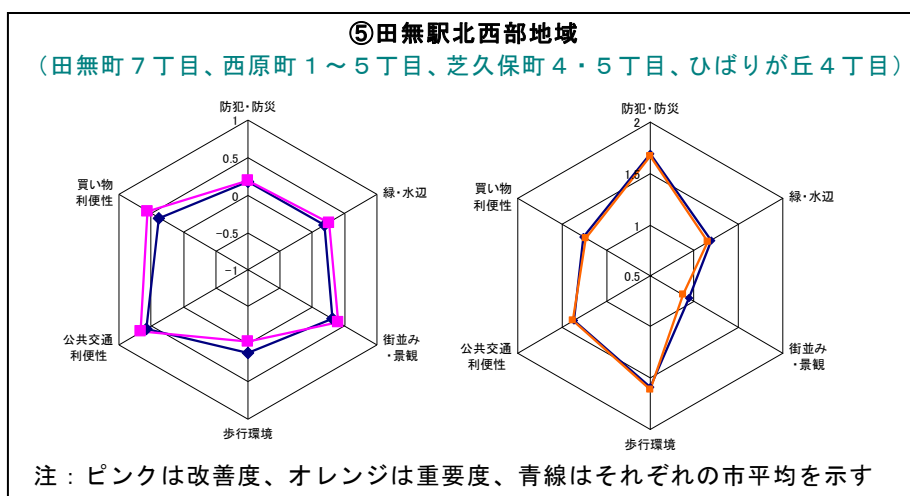


新青梅街道

* 避難広場：広域避難場所へ避難する前に近隣の避難者が一時的に集合して様子を見る場所、または避難者が避難するために一時的に集団を形成する場所で、集合した人々の安全が確保されるスペースを有する学校のグラウンド等

(2) 地域の意識

平成24年の西東京市市民意識調査における田無駅北西部地域の住民に関するまちづくりへの意識を見ると、歩行環境の改善度が市平均を下回っているものの、それ以外の項目についてはいずれも市平均を上回っています。



(3) 地域のまちづくり上の課題

① 土地利用

低層住宅地と中層住宅地とが共存する地域づくりが必要です。スカイタワー西東京周辺に、文化・スポーツ・娯楽系の施設の集積を誘導していくことで「文化拠点」として、より一層地域の魅力を高めていくことが求められます。

② みどり・水辺・景観

西原自然公園や農地など、自然的環境が比較的多くみられる地域として、それらの保全と活用がこれからの重要な課題となります。

③ 交通環境

住環境の改善、防災性や文化施設へのアクセスの向上などのため、生活道路の整備をはじめとする交通網充実のための取組みが重要です。

④ 防災・人にやさしいまちづくりなど

地域の防災性の向上を図るため、生活道路の整備による避難路の充実が求められます。

(4) 地域の将来像

「自然とふれあえ、文化が息づくまち」～田無駅北西部地域～

西原自然公園などの環境資源を活かして、自然豊かなまちづくりを進めます。多摩六都科学館などの文化施設が立地することから、文化が息づくまちの形成を図ります。

(5) 地域のまちづくりの方針

地域のまちづくり方針については、先に設定した3つの戦略的テーマに留意しつつ分野ごとに整理すると以下のようにまとめられます。

① 土地利用の方針

低層住宅と中層住宅を中心とした地域内にあって住環境の保全・改善を図りながら、地域内に残る農地との共生も目指します。新青梅街道などの幹線道路沿道では、沿道型市街地地区として計画的な土地利用を図ります。スカイタワー西東京や多摩六都科学館の周辺では、文化的機能のさらなる集積を図ることを検討します。

② みどり・水辺・景観のまちづくりの方針

西原自然公園は適切に維持管理を続け、将来にわたって大切に保全します。人にやさしいまちづくり条例*によって確保された公園・緑地や児童遊園の保全と充実を目指します。新たな整備についても検討します。文化拠点に位置づけた一帯で、スカイタワー西東京や多摩六都科学館などの特徴的な景観を活かし、景観形成を図ります。久米川街道や東京街道にみられるけやき並木の保全充実を目指します。地域内に散在する小規模な緑地の保全と充実、建物の敷地内や屋上・壁面の緑化、生垣化などを総合的に進めることで、地域全体にわたってみどりを保全創出します。

③ 交通環境の方針

西東京3・4・9号保谷東村山線について、早期完成を目指します。西東京3・4・26号新小金井久留米線について、事業化を目指します。生活道路の整備や沿道の壁面後退*などを進めることで、安全で快適な住宅地の形成を図ります。ひばりヶ丘駅方面など、ほかの地域へのアクセスの改善を目指します。

* 人にやさしいまちづくり条例：開発事業に伴う開発許可の基準などを定めるもの

* 壁面後退：建物の外壁面を道路境界線より敷地の内側に下げたところに設けること

④ 防災・人にやさしいまちづくりなどの方針

避難広場に指定されている、けやき小学校や田無第三中学校などへのアクセスの改善に努め、地域の防災性の向上を目指します。農地付近にみられる暗がりの解消を図るため、照明設置などの設置を検討します。地域内に立地する各種の公共公益施設のバリアフリー化*等を推進します。北芝久保庚申塔などの歴史的資源を保全・活用することで、地域の文化を後世に伝えます。

* バリアフリー化：障壁を取り除き、誰もが利用しやすい都市環境をつくること

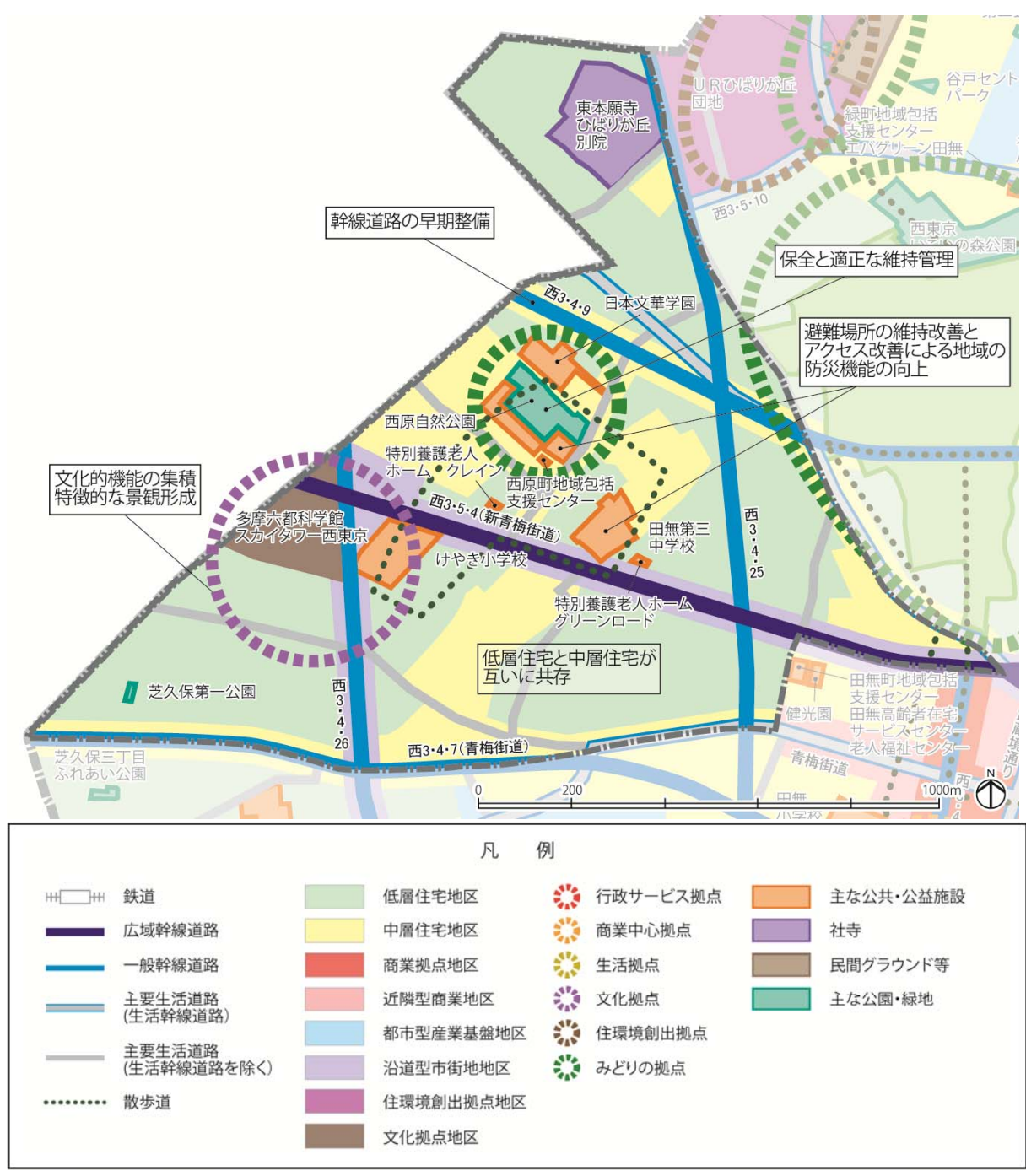


図2-6 田無駅北西部地域まちづくり方針図